

会 議 録

	町長	副町長	課長	課長補佐	係長	係員	担当者
回議							
件名	辰野町有線テレビジョン番組審議会						
年月日	平成24年8月31日(金) 10:00～11:30						
場所	役場 第7・8会議室						
出席者 (敬称略)	矢ヶ崎町長 委員 林千弘(区長会長)、永原良子(町議会議員)、福島英雄(商工会長) 中村智子(JA上伊那理事)、古村幹夫(消防団長)、増澤利定(町公民館長) (事務局・まちづくり政策課) 一ノ瀬元広課長、一ノ瀬敏樹課長補佐、加藤恒男						
欠席者	なし						
配付資料	次第、委員名簿、資料1(デジタル化への取り組み)、資料2(編集の基準)、資料3(基本計画)、資料4(週間放送番組表)、審議会規則						
会議結果 (要旨)	<p>1. 町長あいさつ 放送法の改正により当町も放送事業者となった。住民の声を入れてより良い番組づくりを目指したい。多チャンネルになったことで操作が煩雑になり、抵抗のある人もいるのではと懸念している。チャンネル設定や操作方法等で町としても手伝えることは対応を検討したい。放送が発展し、ボーダーレスになる一方で、身近な話題を知りたいという要望も出ており、住民の姿を音声と画像で伝えることのできる行政チャンネルは重要な媒体であり、有効に活用していきたい。</p> <p>2. 会長の選出 委員互選により、林区長会長を会長に選出。</p> <p>3. デジタル化の取り組みについて 資料に基づき、事務局よりこれまでの経過を報告。 CATV加入世帯が減っていることを懸念する次のような意見が出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京波の再送信については期限が切られているなど今後も減少が予想されると思うが、町としての今後の対応は。(福島委員) ● 地域の身近な話題を紹介できる等行政チャンネルならではの特色もあるので、上伊那広域等とも連携するなかで内容を充実させてことで、脱退を食い止める取り組みをしたい。(事務局) ● CATVを見ることができない方のために、インターネットの動画投稿サイトを活用することを検討しても良い。(古村委員) <p>4. 編集基準・基本計画・週間放送番組について 事務局より、資料に基づき説明し、見直し箇所がないか確認を求めましたが、修正の意見は出されませんでした。 番組内容について出された意見、質問と回答は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議会本会議の様子を放送できないか。(永原委員) ● 議会からの要請があれば対応したい。(事務局) ● 実際の視聴率は。(増澤委員) ● 数年前に行ったアンケートでは、週1回視聴する方が回答者の6割。当年度、実態調査を行い、確認する予定。(事務局) ● 豊南短期大学の学生が制作する番組の内容確認は行っているのか。(増澤委員) ● 職員が支援するなかで確認・指導も行っている。(事務局) ● JAの年間の活動も取り上げて欲しい。(中村委員) ● 情報をいただき、できるだけ紹介したい。(事務局) ● 放送法の改正で何が変わったのか。(永原委員) ● 放送事業者としての責任が重くなり事務量は増えたが、地域に密着したテレビとしては変わるところはない。(事務局) ● 町民が撮影したビデオを投稿してもらい紹介したらどうか。(福島委員) ● 仕組みを検討したい。(事務局) 						

- 有線放送で制作した番組も懐かしく聞いてみたい。活用できないか。(林会長)
 - 映像がないのが課題ではあるが、当年度、再利用できるように記録媒体の整理に取り組む予定であり、活用を検討したい。(事務局)
5. 放送番組の視聴と合評
- 6月30日・7月1日放送の「ほたる THE WEEK」、8月1日から毎週水曜日に放送している「まちの活力見聞録」を視聴し、委員が批評しました。各委員から出された意見等は次のとおり。
- 身近な話題を取り上げたことは良いが、短くして良い場面があるのではないか。(中村委員)
 - 企業を取り上げる企画は良い。場面をもっと考えたほうが良いでは(中村委員)
 - しっかり流してもらうことは良いが、同じ内容が10分近いと飽きてしまう。参加者のインタビューがあっても良いのでは。(古村委員)
 - 挨拶をする人より、参加者も多く写して欲しい。(古村委員)
 - 記事は、どのように選んでいるのか。(古村委員)
 - 取材依頼を受けることもあるが、職員が探す場合もある。地域の行事などをできるだけ多く紹介したいので情報をいただきたい。(事務局)
 - 内容を短くまとめたほうが良い。(増澤委員)
 - 出演者の言葉が不鮮明な場面がある。マイクを付ける等の工夫を。(増澤委員)
 - 普段は知ることのない地元企業がやっていることがわかるので良い番組だと思う。時間はもう少し短くてもよいのでは。(永原委員)
 - 毎日起きていることを早く流すことも必要。(福島委員)
 - ニュースの内容の紹介より出来事に重点を置いたほうが良い。訴えたいことにポイントを絞って作ったほうが良い。(林会長)
 - 編集体制も課題だと思うが。(古村委員)
 - 現在は2名のスタッフで制作しており、限界があるのも事実。スピード感やメリハリが求められるなか、体制を充実し対応できるように努力したい。(事務局)
 - 特色ある講座が数多くある公民館講座を紹介して欲しい。(増澤委員)

以上